



障害のある子どもから大人まで誰でも参加できるアートワークショップを始めて今年で9年目。当時から参加している子ども達は大人になり、仕事に就いても、週末にはアートワークショップに参加しています。展覧会「自分らしく生きる展」も12回を迎えます。長引くコロナ禍で不自由な日常の中、メンバー達の創作意欲は増大し、内なる想いが表現された作品は、観る人的心を打つことでしょう。

2013年に設立したアル・ド・ヴィーヴルは今年4月、ご支援いただいた皆様のお陰で広いアトリエを持つ事業所に拠点を移しました。今まで通所されていた就労Bメンバーに加えて、重度障害がある生活介護メンバーも仲間入りし、どんな障害がある人も同じ場所でともに支え合い活動しています。

私達のミッションは、障害があることで諦めていることを実現に向けて応援する場とチャンスを提供すること。その一つがアート活動です。

アートを通じて一人一人の個性が際立ち、自信に満ち溢れたメンバー達に出会っていただきたいと思います。

本日は展覧会へのご来場、心より御礼を申し上げます。



アール・ド・ヴィーヴル展
art & vive exhibition

2021/9/22水
-9/27月

10:00-18:00

(最終日16:00まで)



激しいタッチや色彩の中に人らしい想いが織り込まれている抽象画、自分の暮らす土地に対する愛、短いあいだにスタイルをドンドン変えていく方、新たなメンバーが加わってますます多様な表現のスタイルがアル・ド・ヴィーヴルから生まれてきています。

すでに着地したアート作品ではなく、これは何だろう、どうしてこんなふうになるのだろう、そんな問い合わせはじまる生(き)なる現在進行形のドキュメント。

メンバーたちの今、ここに生きている痕跡がダイレクトに表現されています。

人は特性も個性もみんな一人ひとり違う。誰もが自分らしい表現をして自分らしく生きる。

それが私たち社会の未来をつくることにきっと結びつくことだと思います。

美術家・アートディレクター 中津川浩章



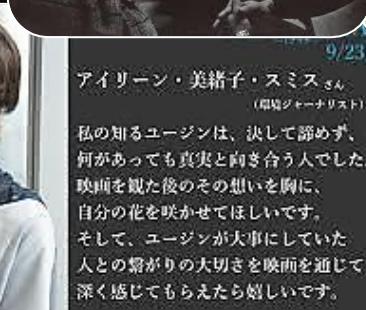
アール・ド・ヴィーヴル ギャラリートーク



9月23日



参列した小泉進次郎環境相 2019年10月19日



アイリーン・美緒子・スミスさん
(撮影:ジョーナリスト)

私の知るユージンは、決して諂ひず、何があっても眞実と向き合う人でした。映画を観た後のその想いを胸に、自分の花を咲かせてほしいです。そして、ユージンが大事にしていた人との繋がりの大切さを映画を通じて深く感じてもらえたなら嬉しいです。